

帷子地区懇談会での主な意見と回答

日 時 平成30年6月29日（金）午後7時～午後8時30分

場 所 帷子公民館

出席者 39人

●市長による講演「東美濃国・可児」の誇りの後、質疑応答が行われました。

【意見】防災訓練を行うが、市の備蓄品を借りようとしても十分な数量がない。
帷子地区は人口が多いため、この地区の人口に合う備蓄品を少しずつでも蓄積して、災害のときに使えるようにしておいてほしい。

【回答】防災や備蓄は大事です。予算の許す限り手当てをしないといけません
が、限られた予算で、どこにどれだけ使うのか議論して決めています。防災
関係ですと備蓄品以外にも、通信手段など災害全体の中で予算が増えています。
特に防災は無線の老朽化、外灯などにお金がかかり、そちらにしわ寄せ
が起きていると思われます。今のお話をお伺いし、何を優先して何を削るか、
改めて見させていただきますのでよろしくお願いします。

【質問】可児市の今後中期的に、どのような計画があるのか。

【回答】可児市は市長の任期に合わせて4年計画とし、任期の間に自分が責任
を持って行うことにしています。

決して日本の先行きは明るくなく、高齢化・少子化という大きな問題がある
ため、高齢者の安気を含め、子育て、地域と経済、安全安心の4つは変え
るつもりはありません。今年選挙がありますので、来年新市長の下に次の4
年間を決めます。それぞれの地区で具体的に何をやるのか、各地域や関係団
体から意見を求めて、4年間で地域としてやりたいことをたくさん出して
いただき、限られた予算の中で優先的にやるものとして総合計画にしたいと考
えています。そこで地域の皆さんの考えをお聞かせいただき、どういうこと
をやっていききたいか、今から帷子では何を注文しようか考えておいてくだ
さい。あくまでも自分の考えですが、そんな腹案をもっています。

【質問】大阪の地震の際小学生がブロック塀の下敷きになって亡くなった。可児市では調査をしたか、また調査の結果危険なところはあったかどうか。

交番が襲われ、小学校内で児童には被害はなかったが、悲しい事件があった。可児市で学校に対する防犯の対応強化をする計画はあるか。

【回答】ブロックについては、直ぐに全小中学校と全公共施設を調査しました。通学路は順番に調べています。小中学校は、建築基準法に合わないものが東明小学校にあり、すでに壊しました。もうひとつの小学校で、バックネットのブロックが基準より高く並べてあり、直ぐに対応しています。公共施設も少しありますが、大きなものはありませんでした。危険なところは直ぐに立ち入り禁止にして作業にとりかかっています。幸いブロックに関して危険なところは、今はない状態です。

昔学校に刃物を持った人が来て、知らない人は校内に入れないという取り扱いをし、父兄までが入れないような状態になりました。もう少し緩めたらどうかということで議論されていますが、現時点でこの事件を機に更に厳しくするという計画は聞いていません。今も外から人が来ないように、いろんな目で見回りをしていますが、完全にというのはかなり厳しいです。地域の交通安全の見回りの人、外で作業してみえる人、学校の近くにお住まいの人が、ちょっと不審な人がいたら、直ぐに市役所や警察に電話いただき、皆さんの目を見ていただくことしか最終的にはないと思います。ぜひ市民の皆さんのご協力をお願いします。